## 2017年 浜松日本語学院 教育実践報告会・講演会 「伝える・つながる・創る力」を育む日本語教育

シンポジウム:「日本語の学びを通してつながる地域社会」 地域社会とつながる日本語学校を目指して



# 【建学の精神】 「技術者の育成をもって 地域社会に貢献する」

地域社会に根差し、地域から日本へそして世界で活躍する有為な人材を輩出する

創 立 1940年

設置学校 大学、大学院、高等学校2校、中学校2校、

専門学校6校、日本語学校2校 ※沼津校は2017.4開校予定

学生数 約7,000名

## 【学校法人静岡理工科大学の一環教育】



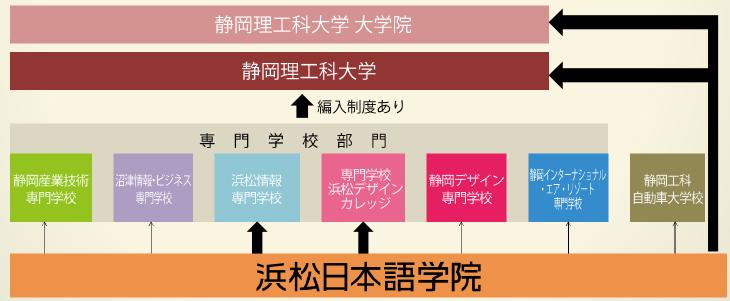
学校法人静岡理工科大学

## 浜松日本語学院

Hamamatsu Japan Language College

### 【学校法人静岡理工科大学 グループ】

学校法人静岡理工科大学は、1940年(昭和 15年)に、"技術者の育成をもって地域社会に貢献する"を建学の精神として設立されて以来大学・大学院・高校 2校・中学 2校・専門学校 6校・日本語学校 1校を設置する総合学園グループです。



※ 静岡工科自動車大学校は本学園と姉妹学園です。

※ この一貫教育は、いわゆる、単純労働者や人的不足の穴埋めではなく、留学生が日本人と同じように、 高度人材として社会で、各分野で活躍できることを目指しています。

## 【浜松日本語学院の教育方針】

#### ①対話型授業

→日本語と技術教育の一貫教育

「対話」に基づく、人とつながる授業

プロフィシエンシー (熟達度) の考えに基づいて目標を設定。ある場面・状況において日本語ではどのように言うのかを学生自身が考え、学生と教師が「場」と「話題」を共有しながら学習をする。 互いに語り合いながら交流できる力を身につけていく。

学生同士の交流・日本人との交流を通して異文化を知る。

② 技術教育

技術教育を通して企業とつながる(就職)を目指す

留学の目標を就職と定め、Step①(学校における人とつながる教育)・Step②(地域社会とつながる教育)を通して、各企業(就職)で求められる、ビジネスシーンにおける円滑な人間関係を確立・維持するためのコミュニケーション能力と専門的技術教育を身に付ける。



#### ③ 社会参加のための教育

地域社会

学校と地域が連携して留学生が日本社会とつながる

留学生とアルバイト先がお互いの成績表を作成する。この両者の"言いたいこと"を「浜松日本語学院」と「マンパワーサポート・はままつ協同組合」との連携を通すことによって、今まで異文化間ギャップなどの原因で意思の疎通ができなかったアルバイト先と学生をサポートし、よりよい、継続的に続く雇用関係を生み出している。

## 【浜松日本語学院と専門学校との一貫教育】

浜松情報専門学校の技術教育と連携を行い、浜松日本語学院と一貫教育 を実施。

現在、コンピュータ・CAD、観光ビジネス分野を教育。

海外現地高校等との技術一貫教育。

今後、自動車工学、ファッション、医療、介護分野・・・。様々な分野への連携教育の可能性。

#### グループ内の専門学校と連携し5年間で就職後ビジネスで必要な日本語を含めた教育を行う



## 【① 対話型授業】

#### (1) 「できる日本語」の必要性

- ① 資格取得だけの日本語教育ではなく、就職(専門教育)に結びつく日本語教育が必要(建学の精神を実現するために)。
- ② 資格取得の勉強 → 文型・文法の暗記中心。

学生から面白くない・・・。

出席率が上がらない・・・。

③ 非漢字圏の学生の増加 → 今までの教育技術では対応出来ない。

(漢字が分からない・・・。)

#### (2) 「できる日本語」の成果

①出席率の大幅な向上。

皆勤 (無遅刻無欠席) は2年前(「でき日」導入前)1年間は0名、本年度は3名。 3ヶ月皆勤は2年前は6名→本年度は42名 (7倍に!)

- ② N 1 取得者の大幅な向上。 2 年前は1名、本年度は9名(9倍に!)。
- ③ 外部機関との連携が大幅に増えた(静岡県や浜松市の行政機関や市民団体、ラジオ局、保育園・・・)。
- ④ 学校雰囲気が大幅に明るくなった。学生も教職員も ^ ^

## 【② 技術教育】

#### 介護教育の可能性の例

定住者や留学生においても、高齢者の介護の必要性を感じている学生がいる。

① 本校2年生のベトナム人留学生が、今年、名古屋の介護専門学校に進学

日本の介護分野に興味があった。

過去にも、韓国、タイなどの学生も希望があった。

以前は、介護の在留資格の見通しがなかったため、進学はあきらめている。

② 本校1年生のスワレスさん(ペルー出身、定住者)が天竜厚生会 介護講座への参加 ☆講座の参加感想 初めて企業の仕事をした。利用者の古々は優しくているいるな関

初めて介護の仕事をした。利用者の方々は優しくていろいろな関わりが持てた。利用者さんのサポートができた。もう少し実習がしたい。 4月からハローワークで介護実習をしようと思う。



## ③社会参加のための教育

## 「できる日本語」で地域とつなぐ



#### (1) アルバイトでの社会への参加 マンサポート浜松の事例



学校と地域が連携して留学生が日本 社会とつながる

学校法人静岡理工科大学 浜松日本語学院



協同組合 マンパワーサポート はままつ



企業

- (2)市民団体等での社会への参加 静岡県、浜松市 サポーターバンク 留学生支援の会
- 学校と地域のつながりをより近く
- ・学生の日本の文化、習慣への理解を深める
- ・学生の日本語でのコミュニケーション力の向上



## 【まとめ ~ 今後の展開】

#### (1) 日本語と技術の一貫教育

現在、実施している技術教育(IT、観光ビジネス等)に加え、介護などの様々な分野で、社会で必要とされる専門的な日本語教育と技術教育の連携を行う。

#### (2) 社会参加のための教育

様々な技術教育に加え、地域の各専門機関や行政、企業、学校との連携を深めていく。

#### (3) 「学びの共同体」

学校教育目標、カリキュラム、教授法が全教員に共有され、さらに、 教育技術、意識が向上するように「学びの共同体」を教員自身が作り 上げることを目標にしている。

- ① 各講師の授業の分析、フィードバックを、教師育成教員により行う。
- ② 同様に、教師間分析、自己分析も行い(自己教育力の向上)、その課題の共有と授業改善をし、教師力の向上を目指す。
- ③ 教材開発、評価(学生の言語能力)の開発を、教師間の共同作業で行う。

